

2018年 11月12日(月) - 12月14日(金)

第一会場 慶應義塾図書館展示室 (三田)

9時 - 18時20分 (土曜16時50分) 日・祝・11月22 - 25日休館

第二会場 慶應義塾大学アート・スペース

10時 - 17時 土・日・祝・11月22 - 25日休館

参禅山佛堂禅师之像記

勅命宗祥瑞庭而堂和尚詣于統敵野林洞而閏五月十三日降詔... 須取記如幸而冠乎上使後其見閩人為其所授寫也白剛之... 富家一夕多中天秋來施施云擇法海慈深之僧于復而一旦謗誦千部... 後巡詠速近拜履萬指而謗誦私主數即之其人多至五人云法教可... 擇法課宜富家思惟吾不見擇法眼如何辨法穢哉云云近頃承天社... 未之必得所謀寫乎又表天長老去久擇龍圖之底與合留感峰之... 以法之長之長云云你之所求非難也德感宜先求水見則念珠十束集... 師懸之於室中其燭於四隅設物查室中其日之中誦法再一卦... 淨息望是太政現形於室中其日之中誦法再一卦... 求就弟子之列兼之云云長師尚存存義不可也指傳矣公服老師社領

センチュリー文化財団

寄託品展覧会

禪僧

の書と書物



料 金 別 納 郵 便

古くから日本では、禅僧の書は「^{ぼくせき}墨蹟」と呼ばれ、特に茶の湯の世界で珍重されてきました。字そのものの美しさだけでなく、にじみ出る精神性が高く評価されています。しかし、それは、厳しい禅の修行を経て得られたものだけではなく、地道な読書や漢詩文の創作という、学問・文学の修練のたまものでもあります。この展覧会では、書の作品とともに、その背後にある学問を支えた書物、また彼らの文学作品を集めた書物などを合わせて展示することによって、禅僧の文化的な営みを展望できればと考えています。

お問い合わせ

慶應義塾大学附属研究所斯道文庫
03-5427-1582 <http://www.sido.keio.ac.jp/>



東京都港区三田 2-15-45
最寄り駅：JR 田町駅、地下鉄三田駅・赤羽橋駅

【主催】 慶應義塾大学附属研究所斯道文庫、慶應義塾大学アート・センター、慶應義塾図書館

展示解説（ギャラリートーク）参加無料・予約不要

11月28日（水）14:45- / 12月10日（月）13:00- [両日とも図書館展示室集合]

主な出品作品 浙翁如琰墨蹟、環溪惟一墨蹟、高峰原妙頂相、渡唐天神図、宋版『物初臆語』、五山版『春秋経傳集解』、『狂雲集』沖森本ほか

Treasures from Century Cultural Foundation **CALLIGRAPHY AND BOOKS OF ZEN PRIESTS**
12 NOV. - 14 DEC. 2018, Keio University (Mita) [Library and Keio University Art Space]